

災害時要配慮者を守る

災害時におけるハンディキャップ

①危険を察知しにくい

視聴覚障がい者など

②危険であることを理解・判断しにくい

外国人、精神障がい者、乳幼児など

③危険に対して適切な行動がとれない

傷病者、障がい者、高齢者、妊婦など



- 話をするときはまっすぐ顔を向け、口はなるべく大きく動かして話す。
- 杖をもつた方の手はとらない。
- 手先や手首を持たないでひじのあたりに軽く触れて、ゆっくり歩く。
- 方向や目の前の位置などを、時計の文字盤の位置を想定して伝える。

外国人旅行者



- とっさのときは、身振り手振りで話しかけ孤立させないようにする。
- 旅行先では非常口の確認を。

車いすを利用している人



- 階段では2人以上で援助を。上りは前向き、下りは後ろ向きで移動します。
- 救援者が1人の場合は、おぶって避難しましょう。

高齢者・傷病者



- 援助が必要な時は複数の人数で対応する。
- 急を要するときは、おんぶ紐などでおぶって安全な場所まで避難する。

非常持出品

●地震の後、津波のおそれがある場合

即避難出来るよう荷物は最小限に!

- メガネ
- お薬カード
- 携帯電話
- 懐中電灯

直ぐ持ち出せるようにしておきましょう

●スニーカー

(室内に割れたものが散乱している場合があるので、枕元に置く)



●台風や風水害が予想され事前に避難所へ避難する場合

□水の備蓄



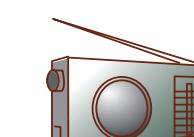
□食料の備蓄



□現金



□携帯ラジオ



□非常持出袋



□印鑑、預金通帳



□懐中電灯、電池



□運転免許証、健康保険証(もしくはコピー)



□下着、上着などの衣料、毛布



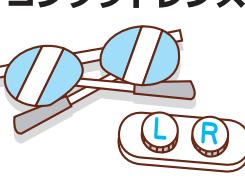
□タオル、マスク、軍手、ポリ袋



□かつば、ヘルメット



□予備のメガネ、コンタクトレンズ



家庭での備蓄

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備え、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するよりも、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。家族で日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。



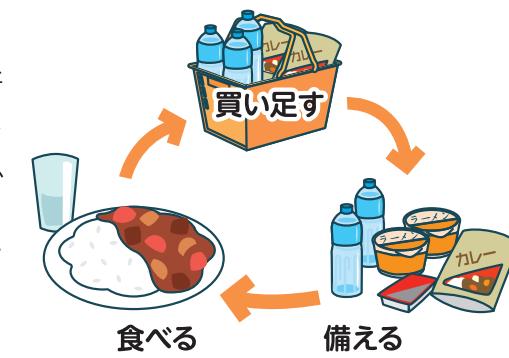
●家庭用の備蓄で必要なもの

- 飲料水…最低7日分 (1人1日3リットル程度)
- 非常食…最低7日分の食料として、ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※大災害に備え、1週間分程度備蓄を準備するのが望ましい。

●ローリングストック(循環備蓄)

普段から少し多めに食材、日用品を買っておき、使用したら使用した分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックと言います。ローリングストックのポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返することで、備蓄品の鮮度が保たれ、いざという時にも日常生活と同様の食生活を送ることが可能となります。



●高齢者・乳幼児・妊婦・食物アレルギー・慢性疾患の方などがいる場合の注意点

高齢者・乳幼児・妊婦・食物アレルギー・慢性疾患の方などがいる場合には、通常の備蓄だけでなく、それぞれの方に合わせた備蓄が必要となります。粉ミルクやおむつ、医薬品や食物アレルギーに対応した食料品といったものを準備しておきましょう。

お薬手帳もいつでも持ち出しができるように準備しましょう。



●携帯トイレも備蓄しましょう

災害時に備えた食料品、飲料水の備蓄は少しづつ浸透してきましたが、「携帯トイレ」の備蓄も必要です。生きる上で、食べること、飲むことと「排せつすること」はセットです。

もし、水道が止まってしまったら、いつもの様に水を流すことができません。また、下水道が破損した場合には、水を流しても排せつ物が流せなくなる場合もあります。

トイレを気持ち良く使うことができないと、体調を崩したり、災害関連死につながる可能性もあります。あなたと家族を守るために、「携帯トイレ」も備蓄しておきましょう!



このようなものも用意しておきましょう。

●乳幼児がいる家庭

粉ミルク、哺乳びん、離乳食、スープ、オムツ、洗浄器、おんぶ紐、バスタオル、ガーゼ、おしりふき、母子健康手帳など

●妊婦のいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳など

●要介護者のいる家庭

着替え、オムツ、ティッシュペーパー、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネなど

●食物アレルギー体質者のいる家庭

アレルギー対応の非常食(1週間分程度)、常備薬、アレルギー対応ミルクなど



自主防災組織

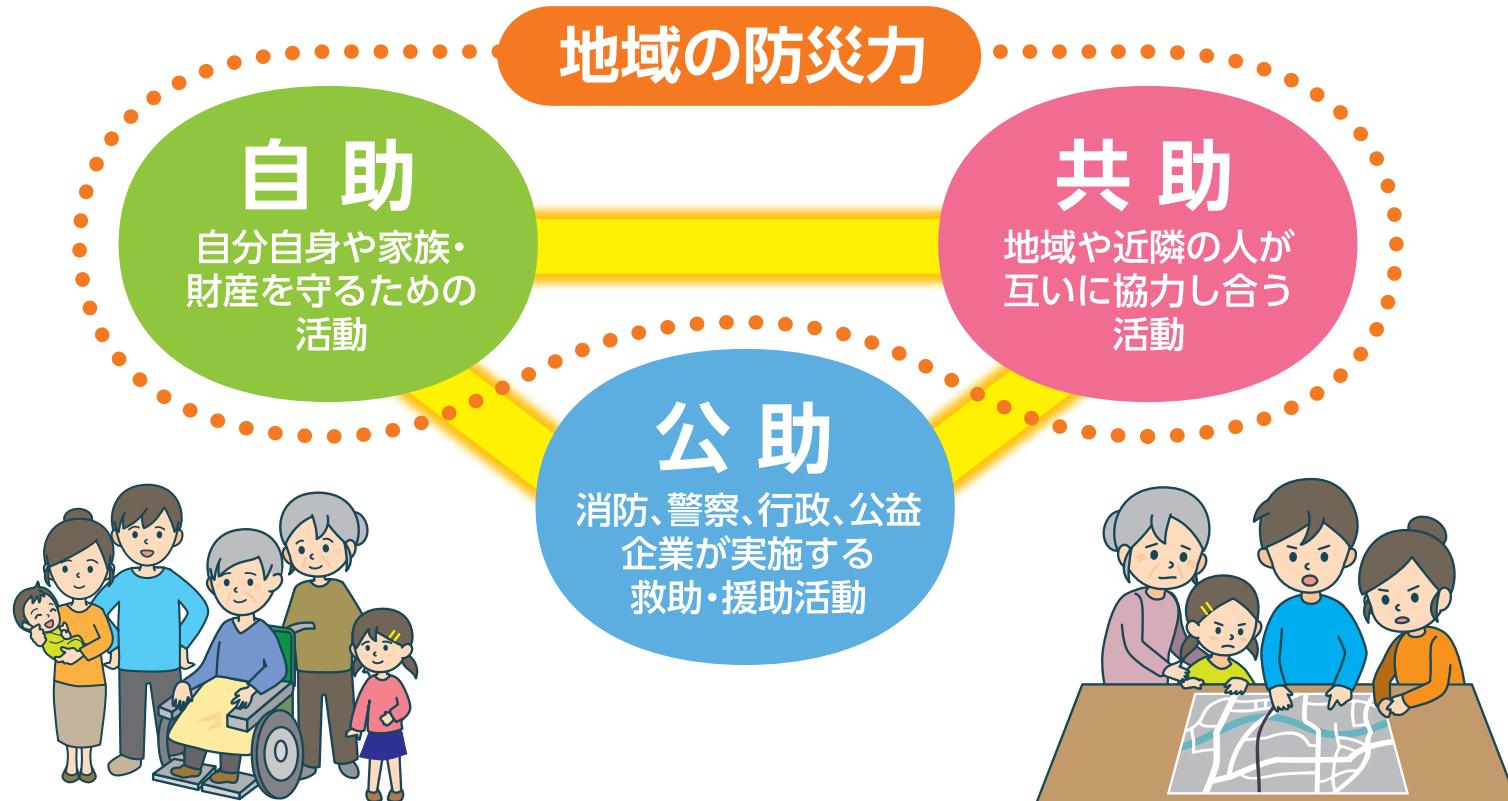
災害に強い地域をつくりませんか？

●地域の防災力

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。

ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動（公助）は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力が重要となります。

災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため、「自主防災組織」活動を通じて、共助の強化、地域の防災力の強化に向けた取組を始めてみませんか？



自主防災組織とは？

- 災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言います。
- 平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食給水などの活動を行います。

なぜ、自主防災組織が必要なの？

- 大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、地域の皆さんと一緒に協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図ることが可能です。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。より効率よく、さまざまな活動をするためにも事前の準備（=体制づくり）が重要です。

耐震診断・耐震改修に関する補助制度

西伊豆町では下記のような、静岡県や町独自の支援策を用意しています。

これらの支援策を積極的に利用して、自宅・地域の安全性をさらに高めましょう。

●耐震診断

対 象

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅
※戸建のほか、長屋、共同建ても対象です。

費 用

無料

専門家（静岡県耐震診断補強相談士）を派遣し、耐震診断を行います。
診断後に、住宅の耐震性を説明するとともに、一般的な相談にも対応します。

●家具止め

一般世帯

固定金具等の購入に要する経費の2分の1を補助します。
ただし、補助額は**10,000円を限度額**とします。

災害時要支援者世帯等

家具の固定に要する経費、および固定金具等の購入に要する経費の10分の9を補助します。
ただし、補助額は**22,500円を限度額**とします。



●耐震改修(補強計画一体型)

対 象

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅
耐震評点1.0未満を、1.0以上（0.3ポイント以上向上）にする
補強計画と一体的に実施する耐震改修工事

補 助 額

一般住居……………100万円まで（工事費の8割上限）
(在宅避難のための更なる耐震化の要件を満たす場合+15万円)
高齢者等住居……………120万円まで（工事費の8割上限）
(在宅避難のための更なる耐震化の要件を満たす場合+15万円)



●ブロック塀対策

対 象

緊急輸送路又は道路に面するブロック塀等の撤去又は改善

補 助 額

撤去……………対象経費の3分の2以内の額（敷地限度額266,000円）
改善……………対象経費の3分の2以内の額（敷地限度額266,000円）

●お問い合わせ先

産業建設課 ☎0558-55-0212（家具止め以外）

防災課 ☎0558-52-1111（家具止め）

情報の入手先

●西伊豆町は避難情報をLAラートで届けています

災害時の避難の呼びかけや避難所開設の情報は、テレビリモコンのdボタンにより、データ放送の避難情報で確認できます。

●メール配信サービス「西伊豆町すぐメール」

町内放送の内容をメールで受け取ることができます。内容は防災情報や観光イベント情報、生活情報などです。

●登録方法

右のQRコードを読み取るか、下記URLをブラウザのアドレスに入力し、画面の指示に従って登録作業を進めてください。

空メール送信画面のURL <https://service.sugumail.com/nishiizu/>

※QRコードは
(株)デンソーウェーブの
登録商標です。



▼防災情報やハザードマップを調べる

静岡県総合防災アプリ



静岡県防災
アプリ



▼雨量等を調べる

サイポスレーダー



サイポス
レーダー^{スマホ版}



▼土砂災害や洪水に関する情報を調べる

キキクル

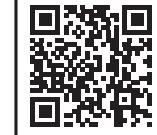


土砂キキクル



▼停電情報を調べる

西伊豆町停電情報



停電情報

▼各種気象情報を調べる

気象庁

▼川の水位情報等を調べる

川の防災情報

緊急時の連絡先

※災害時、携帯電話はつながりにくくなる
恐れがあります。



●問い合わせ●

西伊豆町役場 防災課 防災安全対策係

静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401番地の1

TEL.0558-52-1111(代)